



とっぱずれ



銚子東ロータリークラブ Weekly Bulletin NO. 2116



高知城（左）と姫路城（右） 提供：宮内 勝利 会員

移動例会

第2116回 例会 平成27年10月20日

点 鐘 … 藤崎 一成 会長

ロータリーソング … それでこそロータリー

会長挨拶 … 藤崎 一成 会長

幹事報告 … 星野 隆 幹事

移動例会

房総半島方面

出席報告 … 出席・プログラム委員会

来週のプログラム（平成27年10月27日）

クラブ協議会

第4回定例理事会（例会終了後）

お食事「大新」



Be a gift to the world

世界へのプレゼントになろう

2015～2016年度 RI会長 K.R. ラビンドラン

第 2115 回例会(平成 27 年 10 月 13 日)

会長挨拶

藤崎 一成

本日は出張の為、例会を欠席してしまい大変申し訳ございません。来週は移動例会で房総方面に参ります。多数のご参加をお願い申し上げます。

さて、10 月は米山月間であります。米山奨学事業の最も素晴らしい点は、ただ奨学金を与えるだけでなく、奨学生が世話クラブのロータリアン達と関わりあっていく中で、様々な薫陶を受け、将来、大きな人材に育っていくところにあります。

一例を挙げれば、台湾で「統一超商」という会社の社長を務める、徐重仁(ジョ・ジュウニン)さんは「台湾流通の父」と呼ばれる程の人物ですが、彼は 1976 年~77 年までの間、米山奨学生として平塚ロータリークラブにてお世話になっておりました。徐さんは台湾で初めてセブン-イレブンを開店した人物です。その後、事業を拡大し現在では 4750 店を運営する大企業家となっております。

そんな彼がセブン-イレブンの事業に目をつけたきっかけも、米山奨学生として日本に留学していた時に、コンビニの便利さに気が付き「これは台湾でも普及するに違いない」との思いに駆られたことによります。

若い頃から事業家を志していた徐さんは、米山奨学生となってロータリアン達と触れ合う機会に恵まれたことは、大なる勉強の場であったと回顧しております。とりわけ、カウンセラーであった、故・松田昇二会員との交流は彼にとってかけがえの無いものでした。松田会員は、彼を度々自宅に招いては夫人の手料理を振舞ったり、生活必需品を持ち帰らせるなど親身に接しておりました。そんな松田会員の温かさに触れ、徐さんはいつも涙ぐむ程、感謝の気持ちを持っていたそうです。このように日本のロータリアンの温情に触れつつ勉学に励んだ経験は、彼に社会貢献活動の重要性を認識させたと思われまふ。

その奉仕の精神は 1999 年、台湾を巨大地震が襲った折、彼が経営するセブン-イレブンがとった行動に如実にあらわれております。地震で多数の犠牲者が出る中、緊急支援の物資をいち早く市民に提供し、ライフラインを大きく支えたのです。この献身的な活動により台湾国民の中では「たとえ政府が無くなっても、台湾にセブン-イレブンは不可欠」と賛辞を送る程でありました。彼は日本のロータリアンとの触れ合いの中で、日本人が特に重んじる「困ったときはお互い様」や「お世話になった方への恩返し」という概念を強く胸に焼き付けたと思われまふ。

徐さんはカウンセラーであった松田会員が病床に倒れたとの報に触れるや、台湾から幾度も日本にいる松田さんの病床に駆けつけました。その際は食事も満足に取らずに、松田さんの病床においてずっと手を握りしめていたとのことで、その姿を見た松田会員の夫人は思わず感激の涙を流しました。

徐さんは、かく語っております。「われわれ米山学友は日本のロータリアンから受けた恩を忘れない。私自身も商業界で日台の協力関係を推進し、日本企業と共にアジアの発展を支えたい。また、ロータリアンとして社会のため、世界平和のために尽力したい」と…。何とやるわしい精神でありましょ。ただ事業を成功させるだけでなく、成功しても決して恩を忘れない、その恩を返していく…。このよ

うな素晴らしい事業家を産んだ影には、米山奨学制度があったのです。これをもって米山奨学事業がいかにも有益かがわかると思います。どうか皆様もその意義を今一度噛み締め、多くのご寄進をお願い申し上げます。

それでは今週も、ロータリー哲学の実践により、皆様方のご事業が益々の発展を遂げられることを切に願いつつ、10 月第 2 例会の会長挨拶とさせていただきます。

幹事報告

- 1・ガバナー事務所より
 - ・ソウル国際大会登録方法について
 - ・世界ポリオデーの特別イベント視聴のご案内
 - ・地区委員会主催のセミナー出席者について
 - ・RLI パート II 及び III のご案内
 - ・【再送】フェロシップ交流会のご案内
 - ・フェロシップ委員会『里山歩き』のご案内 受領
 - 2・ガバナーエレクト事務所より
 - ガバナーエレクト事務所開設のご案内 受領
 - 3・日本ジオパーク関東地区大会実行委員会より
 - 関東地区大会(銚子大会)2015 へのご協賛のお願い 受領
 - 4・銚子地区保護司会より
 - 広報紙「うみなり」の送付について 受領
- ☆会報受領 八日市場 RC

卓 話

「茨城県をご存じですか。・・・」 細谷 達朗 会員

常陽銀行は、昭和 10 年に常磐銀行(水戸市)と五十銀行(土浦市)が合併して設立され、本年 7 月 30 日に創立 80 周年を迎えることができました。これもひとえに、お客様、地域の皆さまからの永年にわたるご支



援の賜物であり、役職員一同、心より感謝申し上げます。また、再来年(平成 29 年)の 3 月 1 日には銚子支店も開設 70 周年を迎えます。重ねて御礼申し上げます。

さて、当行は茨城県の水戸市に本店を置き、隣り合う千葉県とは古くから深い繋がりにありますが、みなさんは「茨城県」に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか。「茨城」の読み方は、宮城県が「みやぎ」なのだから「いばらぎ」ではないかと思われがちですが、実は「いばらき」と読みます。茨城県民でも「どっちだっけ?」などと時に忘れられたりしています。また、全国的に「水戸黄門」はよく知られていても、「茨城県」といって思い浮かべるは、納豆、偕楽園、牛久の大仏、アクアワールド大洗(水族館)…、あまり印象がない、特徴がないといったところではないでしょうか。メッセージ性が足りないこともあり、都道府県の魅力度ランキングを表す地域ブランド調査では、2015 年度において 3 年連続最下位に甘んじています(千葉県 19 位)。2009 年度からの調査以来、2012 年度の 46 位(ブービー)を除き、全て最下位。一方で、地域のご当地キャラクターの認知度については昨年の 25 位から一気に 4 位に上昇しています。詳細は未発表ですが、4 位に急上昇したのは「ハッスル黄門」、「みとちゃん」はたまた「ねばーる君」

なのか、今、茨城県では話題沸騰中です。昨年の順位では、2位「ふなっしー（船橋市非公認キャラクター）、4位「チーバくん（千葉県公認キャラクター）が入賞しております。ちなみに本ランキングは「ゆるキャラグランプリ 2015」のランキングとは違います。

【ハッスル黄門】

水戸黄門をモデルにした茨城県のマスコット。いつでもどこでも何にでも一生懸命に全力ハッスルする元気なキャラ。大きな茨城県のイメージアップのため、いろんなことに挑戦中！みんなも一緒に元気いっぱいハッスル～

【みとちゃん】

水戸市マスコットキャラクターとして、水戸の観光情報発信に励むシティセールスレディである。

【ねばーる君】

茨城県非公認キャラクター。2013年冬から人間界に現れた納豆の妖精。710歳（なっとうだから）。地元イベントや物産展を中心に活動している。

調査会社によると、魅力度は「行ってみたいか」で見る観光意欲度との関係が強いといえます。茨城県は観光意欲度が7年連続で最下位。人口の多い首都圏から近い地域はいつでも行けるか、また行ったことがある地域で、（調査では）不利になる傾向があるとしています。茨城県の観光物産課によると2013年の茨城県内観光地などへの入り込み客数は3,223万9千人で、公表している40都道府県中15番目に多い。同課は「イメージと実態がずれている感じ。今後もおもてなしを重視し、また来たいと思ってもらえるようにしたい。」と説明しています。イメージというものは、核心をついていることもあれば、時として外れていたりすることもあります。今回は、改めて「茨城県」の魅力をご紹介させていただき、「常陽銀行とお取引してもいいかな」と少しでもお考え頂けましたら幸いです。

最初は地理的に考察してみましょう。

茨城県の総面積は全国でも24位と47都道府県のはば中位にあります。しかし、可住地面積では4位になります（千葉県6位）。自然が豊かなイメージのある茨城県ですが、可住地面積も広く、総面積に占める可住地面積の割合も約65%と全国4位となっており、農地や道路も含め居住地に転用可能な平野部が多い事が茨城県の特徴といえます。

次に産業構造を見ますと、

農業と製造業に特化しており、特に製造業は茨城県内総生産の約3割を占め、工業統計でも平成25年製造品出荷額等で全国8位（千葉県7位）になる等、茨城県の主要な産業となっています。鹿島灘に面した鹿島臨海工業地帯は現在でも日本有数の工業地帯として、多数の大規模な鉄鋼業、発電所、石油化学工場が稼働しています。また、日立市、ひたちなか市では日本を代表する大企業を中心とした産業活動を展開しています。北関東自動車道の全線開通や茨城港（日立港、大洗港、常陸那珂港をひとつの港域として）の開港により、北関東を中心に各地へ直結され、東京湾の過密航路を避ける、関東地方における海運の拠点となることが期待されています。農業においても、平成25年農業出荷額は全国第2位と上位に位置しています。販売農家数では全国第1位となっており、農業も同じく茨城県が全国に誇る主要な産業と言えます。

次に「農業産出額」における都道府県別順位に焦点を当ててみますと、

平成25年で茨城県は4,356億円と北海道（1兆705億円）に次いで全国第2位（千葉県3位）となっています。この「農業産出額」において茨城県は以前から全国の中で上位に位置しています。長年全国第1位は北海道ですが、茨城県は6年連続第2位となっています。さらに、都道府県別農業産出額の構成をみるとある特徴がみとれます。関東地方の茨城、千葉では産出額が多い順に、野菜、畜産（肉用牛、乳用牛、豚、鶏など）、米となっています。そして両県ともに構成比のバランスが良いのが特徴です。これに対し、九州地方の鹿児島、宮崎では米の産出額が比較的少なく、畜産（肉用牛、乳用牛、豚、鶏など）の産出額が両県ともに全産出額の半分以上を占めています。また、東京都中央卸売市場での青果物の取扱高、数量においても長年、千葉県と茨城県で1位、2位を分け合っており、首都圏の台所を預かっていることが分かります。高級食材は少ないかもしれませんが、いつも家庭の食卓によく並ぶものを消費者に届けています。家族で鍋をつつき合っ、家庭円満を演出しているのは千葉県、茨城県の農産物からといっても過言ではありません。

次に伝統工芸品をご紹介します。

まずは伝統工芸品の笠間焼（かさまやき）です。笠間焼とは、笠間市周辺を産地とする陶器で、江戸時代中期（1770年代）から作られ始め、関東地方では、益子（焼き）と並ぶ大きな窯業産地として知られています。現在でも300人近い陶芸作家や窯元が活躍されています。春に行われる「陶炎祭（ひまつり）」には約50万人、秋に行われる陶器市である「匠のまつり」にも多くの観光客が足を運ばれております。笠間焼は「特徴がないのが特徴」と言われており、戦後、伝統にこだわらない自由な作品が作れる笠間の気風を求めて各地から若い陶芸家たちが集まったため、現在では安価で実用的な水瓶や徳利から、芸術的で斬新なオブジェまで多種多様な焼き物が焼かれています。皆さまも家宝にひとつつかいがでしょうか。また、笠間焼の老舗で造られている「巨大花瓶（製陶「福田」作）」が北関東自動車道の笠間パーキングエリアに置かれています。過去には最大で高さ約10m、直径約2m、重さ約6トンの作品も造られたことがあります。1個製作するのに約20ヶ月かかるそうです。作り手の熱意がヒシヒンと伝わってきます。

次に無形重要文化財の結城紬（ゆうきつむぎ）です。

結城紬とは、茨城県・栃木県を主な生産地とする絹織物です。単に「結城」ともいいます。国の重要無形文化財に指定されており、近現代の技術革新による細かい縞（しま）・緋（かすり）を特色とした最高級品が主流であります。元来は堅くて丈夫な織物であったが、緋の精緻化に伴い糸が細くなってきたため、現在は「軽くて柔らかい」と形容されることが多くなりました。奈良時代から続く高級織物で結城市などで作られています。

重要無形文化財に指定された際、定められた要件は3つあります。

- ① 使用する糸はすべて真綿（まわた）より手つむぎしたものとし強燃糸（きょうねんじ）を使用しないこと
- ② 緋模様を付ける場合は手くびりによること
- ③ 地機（じばた）で織ること

以上の3要件のすべてを満たさない場合は重要無形文化財とはみなされませんが、「本場結城紬」であることに相違ありません。「本場結城紬」は元々は高機（たかばた）で織ら

れたものにも証紙を貼るためにつけられた登録商標であるからです。現在は絹紡糸（けんぼうし）、絹糸と交ぜて織る半工業製品も生産されております。皆さまもこの機会に是非、奥方様に結城紬のショールなどを贈られてはいかがでしょうか。最近反転上昇してきた株式相場同様、これで皆さまの「株」も鰻上りになるかもしれませんね。

最後に、茨城には世界に誇るものがいくつかあります。ご紹介しますと、

① 牛久の人仏

世界最大のブロンズ像としてギネスに認定されている「牛久大仏」です。なにしろ大きく、奈良の大仏が手のひらにすっぽりと乗り、その高さはアメリカの自由の女神の約3倍というスケールです。阿見のアウトレット方面に遊びに行った方であれば、巨大なその姿に驚かれた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

② シャトーカミヤ

牛久市にはもうひとつ、通称「牛久シャトー」と呼ばれるワイン醸造施設のシャトーカミヤがあります。「シャトー」は一貫生産醸造所に対する称号で、原料を生産するブドウ畑は大部分がなくなりましたが、極僅かに継続しているようです。

創業者の神谷偉兵衛（かみやでんべえ）は、三河国（現・愛知県）出身の実業家で、10代の時、横浜でフランス人の経営する会社に就職し、洋酒醸造場で働いたことがきっかけで、酒造業を目指すようになりました。明治13年（1880年）、東京浅草に「みかはや銘酒店（神谷パーの前身）」を開店。のち、ワインの本場、フランスボルドー地方のワイン製造を採り入れた日本国内産葡萄によるワイン醸造を国内事業化することを考え、伝兵衛は茨城県稲敷郡岡田村（現・牛久市）に葡萄畑とシャトー用に土地を購入し葡萄の苗木の栽培を始め、ワイン事業をスタートさせました。

明治36年（1903年）に建設されたシャトーカミヤの事務室（現・本館）は、（フランスの醸造場をモデルにした）フレンチ・ルネッサンスを基調とする2階建て洋風レンガ造りで国の重要文化財に指定されています。そのほか、現在は「神谷博兵衛記念館」になっているワインの醗酵室（醸造場）は「日本最初期の本格的ワイン醸造施設」として、レストランに改築された旧貯蔵庫は「建設当時の状態が良く保存されている」ことから、同様に国の重要文化財に指定されています。

③ アクアワールド茨城県大洗水族館

大洗町にある「アクアワールド茨城県大洗水族館」にはたくさんの生物が飼育されていますが、その中でもサメは45種類、約300頭も飼育されており、日本一のサメ水族館であり、おそらく世界一だろうと言われています。精悍な

サメの姿を思う存分堪能できます。

④ 借楽園

歴史的名所も数々ありますが、そのトップに挙げられるのが、金沢の「兼六園」、岡山の「後楽園」と並んで「日本三名園」のひとつに数えられている水戸の「借楽園」です。水戸藩第9代藩主徳川斉昭によって造園されましたが、名所の由来は、斉昭の「領内の民と借（とも）に楽しむ場になりたい」という思いからつけられたといわれています。

この精神は今も引き継がれており、三名園の中で唯一入園料を徴収しないのは借楽園だけです。四季折々の花を楽しむことができ、特に春先は観梅客で賑わいます。総面積は合計300ヘクタールと、公園としては米国ニューヨーク市のセントラルパークに次いで世界第2位の広さを誇る規模となっています。茨城の世界に誇れるものとして、ほんの一部をご紹介しますが、機会があれば是非ご覧になっていただければ幸いです。

いかがでしょうか。茨城県のイメージは変わりましたか。これからも地域の発展に貢献していく中で、地元を愛し茨城県の魅力を少しでも伝えていければと思います。本卓話の締め括りとさせていただきます。ご清聴ありがとうございます。

前回の例会（10/13）報告

点 鐘 藤崎 一成 会長

出席報告

会員総数	37名	出席規定除外数	5名
出席者	20名	出席率	57.14%
9月29日		確定出席率	100%

来訪ロータリアン なし

欠席者 15名

メイクアップ

黒田君	(10/12新会員研修セミナー)
藤崎君 星野君 黒田君 宮川君 宮内(博)君	(10/15成田空港南RC)
黒田君 宮内(博)君	(10/16旭RC)
黒田君	(10/17AG会議)

スモールコイン BOX	小 計 ￥ 1,800-
	<u>累 計 ￥ 21,256-</u>

ニコニコBOX

累 計 ￥116,000-

銚子東ロータリークラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789
メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 藤崎 一成 副会長 釜谷 藤男 幹事 星野 隆

R. I 第2790地区

クラブ広報・会報委員会 飯田貴之・幸保正東・宮川雅夫・宮内勝利・宮内宗一・杉浦 武

表紙題字 網中喜一郎初代会長

ほととぎす 銚子は国の とっばずれ

古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦（古帳庵 古帳女）が銚子に遊んだときに

詠んだもので、この碑は圓福（円福）寺に現存する。